

児童発達支援事業所における自己評価結果

公表: 令和6年3月31日
事業所名: AIAI PLUS 鴨野

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	1	そうでないことがある。広い部屋では仕切ってそれぞれが集めることができるよう環境を整えている。	
	2 職員の配置数は適切である	6	3	病欠で不足したことがある。タイムーを利用して、児童一人に対し、職員一人配置している。支援人数に合わせた職員数が足りていない。足りない時もある。日によって少ない時がある。	採用を含め、勤務状況を見直す。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	1	連絡帳に毎日記録し伝達事項を伝えあっている。個室。バリアフリーになっている。SNSや自立支援協議会から発行の機関紙でも情報公開をしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	2	毎日掃除機モップトイレ掃除などを行い清潔に保っている。子ども達の視界に入る所の整理整頓を心がけている。机など散らかっている場合は危険のないよう片付ける。定期的な安全確認、清掃確認を実施している。	定期的な安全確認、清掃確認を継続する。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	2	児童の目標設定を描く職員が把握しそれに向けた支援を行っている。取り繕っていく必要がある。	ケース会議の機会を増やす。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	全保護者へ事業所評価を配布し職員間で共有している。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	2		新入社員にも周知する。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	2	社内監査チームによる監査を実施し改善に努めている。	新入社員にも周知する。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	3	時間がない。研修案内があってもすべて自己負担の考慮してほしい。最近出来ていないが空き時間に必要な事は共有している。	研修の機会を増やす。動画研修を周知する。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	1	個別支援計画を作成したのち書庫に職員に共有し支援を行っている。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	3	様々な支援方法、学習内容を展開している。分からない。	アセスメントシートの情報共有を徹底する。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	0		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9	0	各児童の計画書をコピーし職員がみれるよう管理している。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	3	社員によるプログラム準備が効率よく行われている。どちらともいえない。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	社員それぞれに書く色を設けプログラムの作成者が誰であるかを管理し工夫されている。運動は毎週種目を変更し取り繕んでいる。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	9	0		
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	3	時間がない。時間がなくてできない時もある。支援前に職員同士担当する児童を決めプログラムの確認を行っている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	3	施設長に報告、業務日誌に記録している。職員間で共有ノートに些細な事も記載し共有を行っている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	児童の連絡帳、記録に毎日残し確認ができるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	施設長が定期的にチェックし改善している。	
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0		
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9	0	チラシ、パンフレットなど案内を配ったり提案している。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	5	重身は利用なし。資料を確認し状況のシェア(情報共有)を行っている。	医ケア児、重身でない利用者も積極的に連携を深める。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	5	情報共有を行っている。	医ケア児、重身でない利用者も積極的に連携を深める。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	2	一部の園とは行っているが、園が拒み行っていない所もある。保育所等訪問支援を行い、常時連携を行っている。	積極的に情報共有の場を増やす。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	1	情報共有を行っている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	2	情報共有を行っている。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	4	児童が通う保育園に訪問に行く際行える。地域のイベントなど情報を掲示している。	地域の情報公開を行う。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7	2	参加している。	周知する。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	支援後保護者様とお話し当日の課題など共通理解している。毎日の支援後に今日の出来事をお伝えしている。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8	1	家庭での取り組みのアドバイスなども行っている。	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	行っている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	0		
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	支援の引継ぎの際に必ず保護者の方とお話している。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	2	フォーラムを開催し連携する機会を設けている。	周知する。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	その場で対応するか、相談が必要なものに関しては職員間で共有し必ずお伝えしている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	行っている。通信の発行、LINEの活用。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	9	0	行っている。鍵付き書庫を使用。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	行っている。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	6	3	チラシをお配りしている。手紙で周知。看板を設置。	イベントを行う際は広く情報公開する。
	非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	0	防災訓練は定期的に行っている。契約時にお伝えしている。
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		9	0	外に出る練習を行っている。	
43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		9	0	個人情報ファイルに管理し職員間で共有している。	
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		6	3	アセスメントシートで確認。	周知徹底する。
45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		9	0	共有している。	
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		8	1		
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		9	0	している。	